イ　言語表現活動
ウ　音楽・身体表現活動
エ　情報手段などを活用した活動
(2) 子育て支援と保育
ア　子供・子育ての問題
イ　子育て支援のための各種施設
ウ　子育て支援
(3) 保育の活動計画と実習
ア　保育の活動計画
イ　保育実習
3　内容の取扱い
(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。
ア　子供の表現活動や子育て支援について，具体的に理解できるよう，幼稚園，保育所，認定こども園及び地域の子育て支援関連施設などと連携を図り，単に子供と触れ合うだけでなく，綿密な計画に基づき保育者の視点をもった実習を行うことができるよう指導を工夫すること。
(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。
ア　〔指導項目〕の(1)については，子供の表現活動を保育の場で展開するための基本的な技術を身に付けることができるよう実習を中心として扱うこと。
イ　〔指導項目〕の(2)のアについては，子育て支援に関する社会的背景を取り上げ，子育て支援施策の概要を扱うこと。また，子供の虐待とその防止などに触れること。ウについては，具体的な事例を通して保育者が行う保護者支援を扱うこと。

第7　生活と福祉
1　目　標
家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 高齢者の健康と生活，介護などについて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
(2) 高齢者の健康と生活，介護などに関する課題を発見し，高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

(3) 家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び，高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
2　内　容
1に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。
〔指導項目〕
(1) 健康と生活
ア　健康の概念
イ　ライフステージと健康管理
ウ　家庭看護の基礎
(2) 高齢者の自立生活支援と介護
ア　高齢者の心身の特徴
イ　人間の尊厳と自立生活支援の考え方
ウ　高齢者介護の基礎
(3) 高齢者福祉の制度とサービス
ア　人口減少社会と社会福祉
イ　高齢者福祉の法規と制度
ウ　保健・医療・福祉サービス
(4) 生活支援サービスと介護の実習
ア　生活支援サービスの実習
イ　介護の実習
ウ　レクリエーションの実習
3　内容の取扱い
(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。
ア　〔指導項目〕の(4)については，校内での実習を踏まえて，高齢者と接する機会を設けたり，福祉施設などの見学や実習を取り入れたりするなど指導を工夫すること。
(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。
ア　〔指導項目〕の(1)のアについては，健康の概念と健康状態に影響を及ぼす要因などを扱うこと。イについては，ライフステージごとの健康問題の特徴を踏まえ，生活習慣病の予防など高齢期に至るまでの健康管理の必要性を扱うこと。ウについては，体温測定や応急手当などの基礎的な内容を扱うこと。
イ　〔指導項目〕の(2)のイについては，アとの関連を図り，加齢に伴う心身の変化を踏まえ，認知症への理解を深めるなど人間の尊厳や自立生